

第 43 回「繊維加工シンポジウムー最近の繊維製品をめぐる情勢ー」のお知らせ

下記の通り、第 43 回「繊維加工シンポジウムー最近の繊維製品をめぐる情勢ー」を開催いたします。

主催：繊維学会 繊維加工研究委員会

共催：日本家政学会関東支部(仮)、日本繊維製品消費科学会(仮)

日時：平成 28 年 3 月 18 日(金) 13:00~16:00

場所：昭和女子大学 大学 1 号館 7L34 教室

(東京都世田谷区太子堂 1-7, 東急田園都市線 三軒茶屋駅から徒歩 8 分)

講演

1. 「日本のエネルギー問題と石油ー石油文明との訣別ー」

元日本石油株式会社 研究企画部部長 荒木芳彦

枯渇が危惧され、地球環境問題の視点からも、化石燃料はエネルギーの太宗ではあり得ない。原子力エネルギーは一定の役割が期待されるが、将来的には再生可能エネルギーを活用した低エネルギー社会の構築が課題だろう。

2. 「日本と欧米のドライクリーニング」

株式会社 白洋舎 洗濯科学研究所長 高坂孝一

日本のドライクリーニングは石油系溶剤が主流で、ほとんどが乾燥機能のない洗浄機を使用、大半の乾燥機は回収機能がない。合成溶剤を主力とする欧米各国と比較し、大きく異なるドライクリーニングの現状を紹介する。

3. 「スパンデックスの特徴と機能化、また、それを活かした衣料素材の開発」

旭化成せんい株式会社 技術研究所 特級専門職 小島潤一

スパンデックスは、伸縮機能を発現する繊維であるが、ストレッチ衣料の拡大と共に+ α 機能を持つスパンデックスが開発されてきた。スパンデックスの基本性能および用途展開、また、旭化成せんい「ロイカ®」機能糸について紹介する。

会 費：繊維加工研究委員会委員 無料、

繊維学会会員及び共催学会員 1000 円、一般 2000 円、学生 500 円

申込み：下記宛てに氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号を記載の上、3 月 16 日(土)までに、葉書、FAX または E-mail でお申し込みください。

問合せ先：〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1

日本女子大学家政学部被服学科 増子富美

FAX : 03-5981-3481 E-mail : fumimasuko@fc.jwu.ac.jp